

認定特定非営利活動法人

2020年 11月号

大津夜まわりの会ニュース

〒520-0815

大津市膳所1丁目10-4

TEL/FAX : 077-521-3603

メール: yomawarinokai@gmail.com

https://otsu-yomawarinokai.org/

コロナ下における

支援の継続と重い責務



認定特定非営利活動法人

大津夜まわりの会

理事長 永芳 明

(弁護士)

暑かった夏も過ぎ去り、過ごしやすい時期は短く、あっという間に冬の足音が聞こえる時期になりました。日頃から、大津夜まわりの会の活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

今年度は、新型コロナウイルス禍の中、当法人の活動も、「夏休み子どもひまわりの家」など、一部業務縮小をしなければなりませんでした。

一部の業務を縮小したとはいえ、当法人の主要な事業である一時生活支援事業（困窮シェルターの運営）及び相談支援事業については、継続して実施しています。コロナの影響が深刻化する昨今、継続的な支援が必要な方が増えているように感じます。また、単なる住居の提供だけでなく、利用者の抱えている課題への対応が必要です。

例えば負債やその他法律上の問題があれば、弁護士につないで破産申立や、相手方との交渉などをしなければなりません。法律事務所への同行支援など、弁護士につないだら終わりというわけにもいきません。

また、障がいをお持ちの利用者については、生活環境の整備や、買い物などの日常生活の支援、賃貸借契約の処理等の対応、近隣の方々との調整など、日常的に時間を掛けた、細やかな支援が必要です。

現在、当法人の相談員の体制は補充が必要な状況であり、限られた人員で出来る限りのことを行っていますが、行き届かないところがあるかもしれません。関係各位のさらなるご協力がないと、業務継続も困難な状況です。引き続き当法人へのご支援を賜りますようお願いいたします。

第20回 越冬支援のつどい

今年は3密を避けるため、やむなく形を変えます！

12月27日（日）に実施

衣料品、豚汁、炊き込みご飯の提供は取り止め

来場者には、お楽しみ「**食品袋**」をお配りします

日時 : 2020年12月27日 午前10時30分～12時

場所 : 大津市生涯学習センター4階(膳所市民センター南隣)

第20回 越冬支援のつどい

♥ 冬物衣料品のかわりに

「お米」や「保存食品」の提供を ♥

お断り

本年の「越冬支援のつどい」は、新型コロナウイルス感染症の予防のため、来場者の密集が予想される豚汁、炊き込みご飯、冬物衣類等の提供は取り止め、紅白まんじゅうや保存できる食料品などを入れた「食品袋」のみの提供に限らせていただきます。ただし、法律相談、生活相談、健康介護相談コーナーは例年通り開設します。

日時は12月27日(日)午前10時30分~12時、会場は大津市生涯学習センター4階の視聴覚室で、来場者にはマスク着用のうえ、検温、手指消毒をお願いします。

「越冬支援のつどい」は2001年の第1回に始まり、今回は20回目の記念すべき年にあたりますが、コロナ禍の現状から、やむなく異例の対応になりました。いつもの熱気やふれあいには欠けるかもしれませんが、「つどい」が支援を必要とする人々への確かな「励まし」の場となることを願います。



「つどい」には、毎年、多くの市民の方々から善意の贈り物として、温かいコートやジャンパー、セーター、靴下など、冬物衣料品がどっさり寄せられ、来場者に喜ばれてきましたが、今年は衣料品を提供しないため、「大津夜まわりの会」での受け取りも行いません。すでに用意してくださっている方もおられるでしょうが、事情をお汲み取りください。

ただ、来場者にはお米やインスタント食品、レトルト食品、缶詰、瓶詰など保存のきく食料品の提供を予定しています。これらの食品をお寄せいただければ、ありがたいです。とりわけ「お米」(できれば白米)の不足が見込まれ、多くの方からのご支援をお待ちしています。

また、電化製品も小型のものは「つどい」当日、テレビ、冷蔵庫や洗濯機など大型家電は後日、必要な方にお届けしますので、心当たりのある方はご一報ください。よろしく願いいたします。

2020年 夏休み子どもひまわりの家



コロナに負けず実施しました 「4日間だけど楽しかった！」



学習は「密」やおしゃべりを避けながら



中国からの留学生に中国の遊びを教えてもらった

大津夜まわりの会が夏休みに居場所や学習機会などに恵まれない児童らのために開く「2020 夏休み子どもひまわりの家」。今年は新型コロナウイルス流行の影響で、小学校の休みが短くなったのに合わせ、例年の半分の4回に限り、8月3日、7日、12日、18日に実施しました。

会場は4回とも大津市生涯学習センターで、開催日は3密の回避やマスク、消毒、手洗い、換気の徹底、机・いすの消毒に加え、熱中症対策にも細心の注意を払いました。

ことしの参加者は、「ひまわりの家」を必要とする児童に限ったこともあり、4日間で延べ47人(実数14人)で、例年に比べると半減しました。4回とも午前中は学習(自習)、午後は外部の先生による特別活動(美術やマジック、健康教室、世界を知る教室)の日課で、児童は充実した時間を過ごしました。見守りやアドバイス役などをお願いしたボランティアの先生は15人。ここでもコロナのせいで大学生の参加が少なく、代わって高校生や社会人の志願が目立ちました。

この活動には公益財団法人公益推進協会から助成金を、大津市市民活動センターから「大津・SDGsくるくるチャリティプロジェクト2019」の寄付対象事業として寄付金を、また大津市・大津市教委、大津市社会福祉協議会からは後援をいただきました。講師の先生方を含め、ご支援ご協力くださった皆様、あらためてお礼を申し上げます。

お米や食料品、日用品、家電製品などのご寄贈は

ご一報ください

大津夜まわりの会 077-521-3603

yomawarinokai@gmail.com